

社会福祉法人 来島会

企業概要

- 会 社 名：社会福祉法人 来島会
- 創 業：1993年6月
- 所 在 地：今治市北宝来町二丁目2番地12
- 業 種：社会福祉事業
- 従業員数：男性／115名 女性／271名

事業内容の特徴

障がい者支援（入所・通所・相談・就労）／児童支援／高齢者介護等を展開。
21施設・55事業を運営。



経営理念

ビ ジ ョ ン：すべての人が『障害』を感じることなく、自分の意思で質高く暮らすことのできる地域社会の実現
ミッション：障害支援のスタンダードとなる

社会福祉法人 来島会の取り組み内容

重点
施策

制度面の取組（例：テレワーク、時短勤務、フレックスタイム、副業制度、育児・介護支援など）

テレワークや時短勤務、時間単位の年休取得など、業務特性に応じた柔軟な働き方を運用しています。育児・介護との両立に配慮し、シフト調整や休暇制度を活用。制度の周知や相談体制の整備にも取り組んでいます。

重点
施策

環境整備面の取組（職場レイアウト、ICTツール、相談体制、評価制度など）

ICTツールを活用し、勤怠管理や情報共有、業務記録の効率化を推進しています。業務フローの標準化・可視化により、相談や申請が属人化しない体制を整え、育児・介護の相談にも対応できる環境づくりを進めています。

その他の取り組み

文化・意識改革の取組

（研修、コミュニケーション、ダイバーシティ教育など）

法定研修やAI活用研修を通じて、学びと対話を重ね、現場の質と働きやすさの向上を図っています。

DEI (Diversity, Equity, Inclusion) の
具体的施策（公平性や心理的安全性など）

業務の属人化を減らし、誰もが安心して働ける公平な職場環境づくりを進めています。

女性・シニア・障がい者・外国人など
多様な人材への支援施策

外国人材を含む多様な人材が安心して働けるよう、現場に寄り添った支援とフォローを行っています。

テレワークや時短勤務などの柔軟な制度とICTによる業務効率化を進め、育児・介護と両立しながら多様な人材が安心して働ける職場環境を整えています。



こんなことから
取り組みが
始まりました



Q1 多様な働き方・DEI 推進に
着手したきっかけは？

制度改正への対応を通じ、形だけでなく現場に根づく取組が必要だと感じたためです。

Q2 当時の社内課題や課題意識は？
（例：人材確保・離職率・女性管理職比率など）

人材確保に加え、業務が特定層に集中し、育成が進みにくい点が課題でした。

Q3 どのような社会的／地域的背景を意識して取組を始めたか？

公益性の高い組織として、実効性ある運用が社会から求められていると感じたためです。

男性育休の一步

経験を次につなぐ、



特別養護老人ホームかこの 岡部 直幸さん

次女の誕生をきっかけに約1か月の育児休暇を取得し、家事・育児を妻と分担しながら向き合うことができました。
1人目のときは十分に関われなかった分、今回は上の子とも過ごす時間を持てたことが大きな意味を持っています。取得前は収入面の不安もありましたが、上司に相談し丁寧に説明してもらえたことで安心して決断できました。子育て世代への理解がある職場だからこそ一歩踏み出せたと思います。今後は自分の経験を伝え、後輩が育休を取りやすい環境づくりに貢献していきたいです。

安心して復帰できる職場

支え合いの中で、



今治市子育て応援ステーションばんび 石田裕里さん

産休・育休を取得し、復帰後も周囲に支えられながら働けていることに大きな安心感があります。子どもが小さい中で、定時で一度帰宅し、必要に応じて在宅で業務が続けられるなど、柔軟な配慮をもらえる環境にとっても助けられています。
復帰当初は迷惑をかける不安もありましたが、快く迎えてもらい、チームでカバーし合う職場の雰囲気にも救われました。今後は、自分も周囲が相談しやすい存在となり、安心して働き続けられる雰囲気づくりに関わってまいります。

取り組み時の課題と解決方法

制度やICTを導入する中で、職種や事業所ごとの差による不公平感や、周知・運用のばらつきが生じ、現場に定着させることが難しい状況がありました。

こうして
解決!

- ・中心部署が連携し、法人本部で進捗管理
- ・定期的な訪問・面談で現場の声を共有
- ・資料統一とICT活用で運用を標準化

成果

定量的
効果

- ・育児休業からの復帰率は高水準を維持
- ・感染症対応時のテレワーク活用で、業務の継続性を確保
- ・女性管理職比率は変動があるものの、業績は一時期より改善

定性的
効果

制度説明やICT活用が進み、業務の見える化と情報共有がしやすくなりました。対話や研修を通じて、現場改善に向けた意識も高まっています。

社内外の
評価

「ひめボス宣言事業所認証」/
2023年9月認証



認証され
ました!



HIMEBOSS

ひめボス

認証事業所

今後の展望
と
メッセージ

今後は、業務の標準化・見える化とICT活用をさらに進め、職員一人ひとりの負担を減らしながら、誰もが安心して働き続けられる環境づくりを深化させていきます。制度は導入して終わりではなく、現場の声を丁寧に拾い上げ、実態に即した運用へと改善し続けることが大切だと考えています。
多様な事情や価値観を尊重し合い、対話を重ねながら、地域に根ざした福祉サービスを支える持続可能な組織を目指してまいります。